

令和5年度第2回つくばみらい市環境保全審議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年2月6日(火)  
午後3時30分から午後4時35分
- 2 開催場所 つくばみらい市役所伊奈庁舎 3階 会議室
- 3 出席委員 天野 一男 委員 山野井 浩 委員 深谷 慶仁 委員  
松崎 清 委員 石村 章子 委員
- 4 欠席委員 猿田 浩二 委員 柚山 義人 委員 元田 治 委員
- 5 事務局 生活環境課  
課長 中村 靖 主査 羽生 順一  
主事 村田 直也
- 6 傍聴人 1名

7 議事内容

開会	午後3時30分開会
・あいさつ	会長あいさつ
・議事	会長が議事を進行する。
・議案第1号	会長 議案第1号 第1回環境保全審議会の意見等に対する回答について事務局より説明をお願いします。  事務局 第1回環境保全審議会の意見等に対する回答について説明。  会長 説明が終わりましたので内容について意見、質問はございますか。  委員 アライグマ捕獲用の箱罠はいくつ増やしたか。  事務局 増やしているとは聞いておりますが、具体的な数は把握しておりません。

委員 具体数を出していただけると、市民もわかりやすいのでは。

事務局 次回からになるが、毎年行う実績報告の際に、具体的にいくつ増やすのかを入れるようにします。

委員 アライグマは捕まえて殺処分する一方、ハクビシンは捕まえても逃がす事になっている。ハクビシンも外来種であると思うが。

事務局 外来種にも様々な種類があり、その中でも被害が多く、個体数の管理が必要となっている特定外来生物のアライグマについては殺処分ができますが、ハクビシンは特定外来生物ではないため、そのような対応が出来ません。

委員 ハクビシンは、農作物への被害の他、住宅の屋根裏等に糞尿をして人間への健康被害も出しているのに、捕まえても逃がすというのは、ずっと疑問に思っている。生き物の殺処分を望むというのは少し変な気もするが、今後考えていくべきものなのではないかと個人的には思っている。

事務局 ハクビシンによる農作物への被害については、確かにお話を聞いたことがあります。本日は欠席ですが、委員の中に県南県民センターの環境・保安課長もおりますので、今後県の考え方なども伺えればと思います。

委員 先日家の前にハクビシンが轢かれて死んでいて、市役所に連絡したらすぐ対応してくれて良かったと思う。報告事項の最後の、公民館の環境に関する講座は、広報に情報を掲載しているのか。

事務局 広報紙とホームページにて情報を掲載しております。

会長 この事業の参加人数とは延べ人数か。

事務局 把握しておりませんが、同じ人が複数の講座に参加している可能性はあります。

会長 なるべくいろんな方に参加してもらった方が良いかと思う。実質何人ぐらいの人が講座に参加しているのか

が重要と思う。

委員 アライグマが増加しているとあるが、増加に合わせて捕獲の目標数も変更していくべきではないか。

事務局 5年計画で、毎年の変更は予定しておりませんが、次回の改定の際に、ご意見を反映したいと思います。

委員 アライグマやハクビシンの話に戻るが、特定外来生物の指定について、農作物への被害だけでなく糞尿による健康被害についても考慮してほしい。

事務局 特定外来生物の指定は市で行っているものではないため、どう反映させられるかはつきりとは言えませんが、国や県の会議等があった際に、今回のような意見があったことを伝えられるよう、担当課に共有したいと思います。

委員 私も国や県との繋がりがあるので、そこで言うこともできると思う。アライグマやハクビシンについて、農作物への被害だけでなく、糞尿による健康被害があることも、市民へ周知啓発すべきと思う。

事務局 担当課へ共有したいと思います。

委員 公民館の環境に関する講座について、先ほど後方で情報を掲載しているとあったが、私もNPOをやっており、市の広報に募集を出したこともあるが、参加人数が少ない。どうすれば市民の環境に関する意識を高められるか。

事務局 それぞれの担当課や広報担当の方で、市民の興味を引けるよう努力しているとは思いますが、色々なところで人集めに苦労していると聞いております。興味を引くチラシの作り方等について、講師を呼んで勉強するなど、地道にやっていくしかないかと思えます。

委員 先ほど参加人数が少ないと言ったが、公民館講座の参加人数は10名や19名などで多いと思う。

会長 私は牛久のボランティアセンターの委員もやっているが、応募が1名しかなくてイベントが中止になったことがある。ビラをたくさん作ったりもしたが、宣伝の仕方

が良くなかったかと思う。

委員 私も最近広報を読むようにしているが、興味を引くような掲載の仕方は重要だと思う。写真がたくさん載っているが、楽しそうな写真を掲載すると良いと思う。以前の審議会でも話をしたが、野バトについて、農家の方から苦情などは来ていないか。

事務局 担当課には情報があるかもしれませんが、私の知っている範囲では聞いておりません。

委員 朝、犬の散歩をしているとよく見る。畑を持つてる人は、蒔いた種を食べられてしまうのではと心配をしている。

事務局 野生の動物のため、鳥獣保護法によりむやみに捕獲したり傷つけたりできないことになっております。少し前にほかの地域でシラサギによる被害が話題になったこともありますが、鳥獣保護法で守られているため対応に苦慮したという話も聞いたことがございます。

委員 土浦の斎場の方で、川沿いにシラサギが大量にいるところがあって、そのあたりを通ると臭うことがある。

会長 先ほどの委員の話に追加すると、最近の情報は SNS で発信するのが主流だと思う。今時市のホームページや広報はあまり見られていないと思う。各担当課で SNS を上手く活用できると良いと思う。一方、高齢者は SNS 等が苦手かと思う。そういった広報の仕方について、若い人たちで色々アイデアを出してもらって進めると良いと思う。

委員 守谷市やつくば市では、同様の募集をしたときにどれぐらい応募があるのか気になる。

委員 私はプロの音楽家としての仕事もあり、今年の 11 月にきらくやまで私のチャリティーコンサートを実施するにあたり、市の広報に情報を掲載させていただいて、市報を読んでくださった方が 200 人以上いた。良いキャッチフレーズを入れることで、多くの人を集めることができると思う。つくばみらい市の広報は、多くの人に読まれていると思う。

・その他

会長 それでは、議案第1号については、以上で質疑を終了いたします。その他について、事務局からお願いいたします。

事務局 つくばみらい市再生可能エネルギー導入目標計画について説明。

会長 説明が終わりましたので内容について意見、質問はございますか。

委員 これは市全体として、産業民生も含めたカーボンニュートラルのための対策として考えてよろしいか。

事務局 計画という名前にはなっていますが、内容としては現状把握、調査を行った結果に近いものです。今後、地球温暖化対策実行計画の区域施策編として、家庭、企業、行政の役割について掲載するための基礎資料になります。

委員 計画には PPA などの具体的な施策についても掲載されているが、これは行政だけが行う対策として掲載しているものか。

事務局 市全体の計画としてでございます。

委員 民生はどうするのか、産業はどうするのかというように、部門ごとに施策は変わってくると思うが。

事務局 少し分かりにくくて申し訳ありませんが、この後で作成する地球温暖化対策実行計画の区域施策編で、只今お話をいただいたような、企業での取組、家庭での取組、といった内容を掲載する予定です。

会長 つくばみらい市では、畜産業はあまりやっていないのか。

事務局 市内にはそれほど規模の大きなものはございません。

会長 畜産業が盛んな地域では、温室効果ガスとして二酸化炭素だけでなくメタンガスについても考える必要があると思う。

委員 水戸に地球温暖化防止活動推進センターがあるので、そこと連携すると良いかと思う。

委員 脱炭素シナリオ策定の、温室効果ガスの吸収源が少ない、その要因は森林面積が少ない、というところについて、温室効果ガスへの対策は、たくさん吸収するか、出さないようにするか、この2択しかないと思うが、森林面積が少ないのは、農業に使われる土地が多いためか。

事務局 市内には平地が多く、そのため農地として使われることが多く、結果として森林面積が少ないという状況になっているものと思います。

委員 私は木を植える団体をやっているので、森林が少ないと言われているのであれば、土地の問題もあると思うが、少しでも貢献できればと思う。

事務局 ぜひ機会があればお願いしたいと思います。

会長 今後の発電は太陽光を中心にやっていきたいところかと思うが、オフサイトでやると森林を削ることになることも考えられ、先ほどの話と矛盾するところもある。

事務局 どこに設置するかを考え、森林を削らない方法もあると思います。なるべく自然を壊さないようにしたいと思います。

会長 風力の可能性は無いか。

事務局 今のところ、内陸部では難しいかと思います。

委員 ちなみに今後、ワープステーション江戸の周辺約900ヘクタールの開発が計画されていると思うが、その森林は守られるのか。

事務局 基本的にはなるべく自然を壊さないよう考えていると思います。

委員 育つのに時間がかかるため、森を潰すのはやめてほしいと思う。

事務局 市主導ではなく民間企業により開発した所には

なりますが、みらいの森公園周辺の、宅地の中に森があるようなところは人気があります。

会長 環境問題について、つくば市などの周辺市町村と連携することは考えていないか。

事務局 今のところは、各市で対策を考え、実施しているところでは。

会長 環境問題は広い範囲で考える必要があると思う。

委員 市が所有している土地はどれぐらいあるのか。

事務局 正確には分かりませんが、まとまった大きな土地や、小さめの土地がいくつかあると思います。

委員 小さな土地でも良いので、少しずつ森林を増やしていければよいと思う。

会長 4ページ目の、農業残差の利活用について、もみがらの燃焼が二酸化炭素の削減につながるとあるが、これはどういうことか。

事務局 例えば木材チップを燃やして発電すると、原料となった木は既に二酸化炭素をたくさん吸収しているので、化石燃料を燃やすよりは、全体での二酸化炭素排出量は少なくなる、という考え方になります。

委員 現在、工業団地やスマートインターを作っているが、これに伴う二酸化炭素排出量はどう見ているか。

事務局 スマートインターについては、どれぐらいの電気を消費するかなどがまだ決まっておらず、工業団地については県の部分もあるため、市の方で確実なことが言えないところでは。

委員 一生懸命二酸化炭素を減らす対策をする一方で工業団地を作るとなると、辻褄が合わなくなるのではないかと思う。

事務局 強制は出来ないと思いますが、今後策定する地球温暖化対策実行計画の区域施策編では、企業に協力を求め

るなどしていきたいと思います。

委員 スマートインターができることで渋滞が新たに発生して、ガソリンの消費が増えてしまうことも考えられる。目先だけではなく、総合的に考えるようお願いしたい。

事務局 スマートインターについては、プロポーザルで事業者を選定した所ですが、選定にあたり環境を意識した設計をしているかを条件の1つに入れておりましたので、補足としてお伝えいたします。

委員 民間の事業所では、2050年と言わず、2030年にどうするか、ということをお社から要求が来ているところがある。弊社では2030年度までにCO2ゼロ工場を作るという謳い文句で進めている。正直言って、今になって再生可能エネルギーの目標計画を作るというのは、事業者の目線からすると遅いのではないかと感じている。企業はだいぶ進んでいると思うので、行政の方もなるべく早く計画を策定し、アクションを起こしてもらいたいようにしてほしい。

事務局 対策を講じるにはどうしてもお金がかかるもので、どこの市町村でも単独で行うのは難しいところです。国の環境省の方でもやっと補助金が組まれ、当市の方でも進めていこうと動き始めたところで、民間企業から見ると遅いと感じられるかもしれませんが、まずはポテンシャル調査を実施し、太陽光やEVの活用など、出来ることが見えてきたところでございますので、今後は、区域施策編を策定し、行政はもちろん、市民、企業と三位一体となって目標達成を目指していかなければならないと思いますので、今後ともご協力の程よろしく申し上げます。

委員 ちなみに、以前どこかで週に1回自家用車の使用を控えるような運動があったと思うが、そういった市民への周知啓発が大切だと思う。

会長 これからは市民全体を巻き込んでこういった議論をしていく必要があると思う。形式的な会議だと集まりにくいと思うので、工夫して気軽に意見が言えるような場を作れると良いと思う。

会長 それでは、進行を事務局へお返しします。

<p>・ 閉会</p>	<p>事務局 本日ご審議をいただきました議案につきましては、後日、市ホームページにて公表させていただきます。</p> <p>以上をもちまして環境保全審議会を閉会いたします。ありがとうございました。</p> <p>午後 4 時 3 5 分閉会</p>
-------------	--